

# 今、わたしは

7月26日、長門市で開催された青海島マリンフェスティバルの前夜祭のミス青海島コンテストにおいて、上田恵美さん（小野地部落の上田政男さんの長女）が見事、ミス青海島に選ばれました。



そこで、今月の「今、わたしは」に登場をお願いしました。

まず、ミス青海島に選ばれた時の感想をお願いします。

「その瞬間はうれしかったです。お仕事は、」

「中部少年学院で二歳から六歳までの子供たち二十人のお世話をする保育をしています」

趣味は、

「水泳とお茶を少し」

コンテストに応募されたきっかけは何ですか。

「友達が一ヶ月ぐらい、毎日、

毎日、下関まで電話をかけてくれて、「書類を用意して、あとはもう出すだけだから」といってくれたんです。しかたがないから、恥かしいけれど一晩だけ恥かしい目をしてみようかなと思って出場しました。ですから、家族にも、こちらにいる友達にも、連絡せず、誰にも黙って、こっそり出ました。翌日はパレードがあるようになつていましたが、その日は、下関に帰りました。」

では、家族の方には何も連絡しなかったのですか。

「いいえ、一応、決つた後に電話をしました。でも、父の知り合いで、見に来ておられた方が先に連絡されたようです。当然、私が出場していることを知りませんので『そんなことはないはずですよ。娘は下関にいますから』とこのやりとりもあつたようですよ」

どなたが一番よろこばれました。



「友達が一番よろこんでいます。今、してみたいことや行つてみたい所はありますか。」

「してみたいことは別にありませんが、行つてみたい所は、沖繩です。でも来月、仕事で沖繩に行くことになつてます。」

ところで、理想の男性のタイプをお願いします。

「あたりまえの事といいますが、常識的な事がはつきり言える人がいいです」

日置町について一言お願いします。

「町外に住んで、六年になりますが、日置町は好きです。特に、二位ノ浜はきれいですね。」

ミス青海島になると忙しくなるのではありませんか。

「仕事交代制なので休みが何時から何時までというように決つていません。仕事がありますから、仕事の都合によります。」

## 七年ぶりに盆おどり

### 大内山上部落

大内山上部落では青年部、婦人部、子供会の共催で八月十五日午後七時より総員三十八名で七年ぶりに盆おどりを催しました。亡くなられた方は十二名で全家を廻ることが出来ませんでした。一班松岡貞良家、二班松尾敏久家、三班西耕作家で親族縁者および部落の方々の多数参集の中で霊前に盆おどりを捧げました。子供達は昔のおどりに興味を持ち大人は昔を偲びながら楽しい汗を流し融和の輪を広げることが出来ました。

(松永佐二部落長・談)



り参加できる範囲で参加させていたきたいと思います」

町のイベントに協力していただけますか。

「こちらに住んでいませんし、仕事もそんなにわがままもいえませんが、いろいろご迷惑をおかけすることもあると思います。でも、前もって、連絡していただければ喜んで参加させていただきます」

どうも、貴重な時間をありがとうございました。

(たいへん明るく、しっかりとたお嬢さんでした。恵美さんありがとうございました。)